



多重極限物質科学研究センター 研究発表会

第2回

極限条件下の研究から広がる物質科学

物性研究を基軸とする教育・研究を行い、社会に貢献することが物質理学研究科の目的です。これを達成するために、本研究センターは“一桁上の多重極限条件”を掲げています。一桁上の極限条件下実験手法を確立し、新奇物性現象の発現と解明を目指す卓越した研究・教育の場を実現し、高いレベルの理学の教育と研究を実践することを目標としています。今回の研究発表会では、学外からX線光学分野で活躍している若手研究者を招き、最新の研究成果を発表していただきます。さらに、センター所属の博士前期課程2年生が修士論文の進捗状況を報告し、センター全教員による分野を超えた研究指導を行います。

会場 理学部 研究棟 739号室

日時 2013年12月26日 13:00~17:00

プログラム

13:00	開会の辞 小林寿夫 多重極限物質科学研究センター長
13:05	大東琢治 分子科学研究所/極端紫外光研究施設 招待講演 UVSOR走査型透過軟X線顕微鏡ビームラインの現状と展望
X線光学分野	
13:45	尾上貴洋 高平行度X線マイクロビームによる光導波路用Ge結晶の結晶性評価 作花賢治 PMMAレジストにおける硬X線集光ビームリソグラフィの特性評価
14:25	休憩 14:25~14:40
14:40	碓 和輝 高位置・高エネルギー分解能XAFS光学系の構築と応用 廣友稔樹 硬X線多層膜ゾーンプレートの作製及び評価
量子物性学分野	
15:20	川端一史 RNi_2Ge_2 ($R=Eu, Gd$) 純良単結晶育成と圧力下磁性 土屋 優 Li_7Sn_2 を用いたSnフラックス法による純良LiFeAs単結晶育成とその評価
16:00	写真撮影・休憩 16:00~16:15
電子物性学分野	
16:15	蜂野幸介 希土類元素を含むアモルファス合金における近藤効果の研究 太刀掛勇哉 $CeRu_2Si_2$ における磁場中点接合分光実験
16:55	閉会の辞 高橋慶紀 物質理学研究科長



多重極限物質科学研究センター
Center for Novel Material Science under Multi-Extreme Conditions
<https://www.sdu-hyogo.ac.jp/material/Centers/MEXC/index.html>